

みずほCustomer Desk Report 2024/08/16号(As of 2024/08/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.34
TKY 9:00AM	147.30	1.1012	162.12	GBP/USD	1.2826
SYD-NY High	149.40	1.1015	163.90	AUD/USD	0.6598
SYD-NY Low	147.06	1.0950	161.96		
NY 5:00 PM	149.31	1.0971	163.90		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,563.06	554.67	日本2年債	0.3200%	0.0300%
NASDAQ	17,594.50	401.90	日本10年債	0.8300%	0.0200%
S&P	5,543.22	88.01	米国2年債	4.1024%	0.1434%
日経平均	36,726.64	284.21	米国5年債	3.7956%	0.1149%
TOPIX	2,600.75	18.85	米国10年債	3.9179%	0.0798%
シカゴ日経先物	37,660.00	1,340.00	独10年債	2.2610%	0.0850%
ロンドンFT	8,347.35	66.30	英10年債	3.9205%	0.0955%
DAX	18,183.24	297.64	豪10年債	3.8960%	▲0.0360%
ハンセン指数	17,109.14	▲4.22	USDJPY 1M Vol	10.51%	▲1.61%
上海総合	2,877.36	26.70	USDJPY 3M Vol	10.78%	▲0.72%
NY金	2,492.40	12.70	USDJPY 6M Vol	9.93%	▲0.59%
WTI	78.16	1.18	USDJPY 1M 25RR	▲1.92%	Yen Call Over
CRB指数	277.34	1.86	EURJPY 3M Vol	9.89%	▲0.71%
ドルインデックス	102.98	0.41	EURJPY 6M Vol	9.46%	▲0.50%

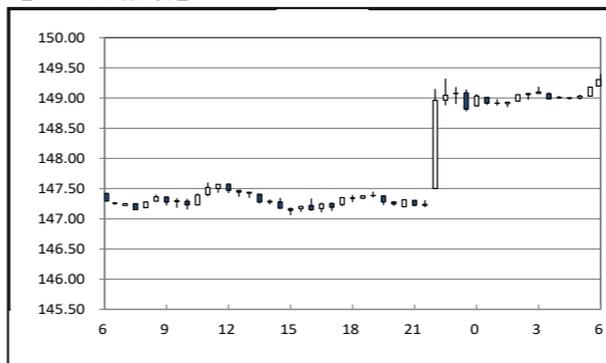
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月15日	08:50	日 GDP(前期比年率/前期比)・速報	2Q 3.1%/0.8%	2.3%/0.6%
	10:30	豪 雇用者数変化	7月 58.2k	20.0k
	10:30	豪 失業率	7月 4.2%	4.1%
15:00	英 GDP(前期比/前年比)・速報	2Q P 0.6%/0.9%	0.6%/0.9%	
	英 個人消費(前期比)・速報	2Q P 0.2%	0.5%	
21:30	米 NY連銀製造業景気指数	8月 -4.7	-6.0	
21:30	米 小売売上高速報(前月比/除自動車)	7月 1.0%/0.4%	0.4%/0.1%	
21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	8月 -7.0	5.2	
21:30	米 新規失業保険申請件数	10-Aug 227k	235k	
22:10	米 セントルイス連銀ムサレム総裁発言	-	利下げ時期近付いている	
22:15	米 鋳工業生産(前月比)	7月 -0.6%	-0.3%	

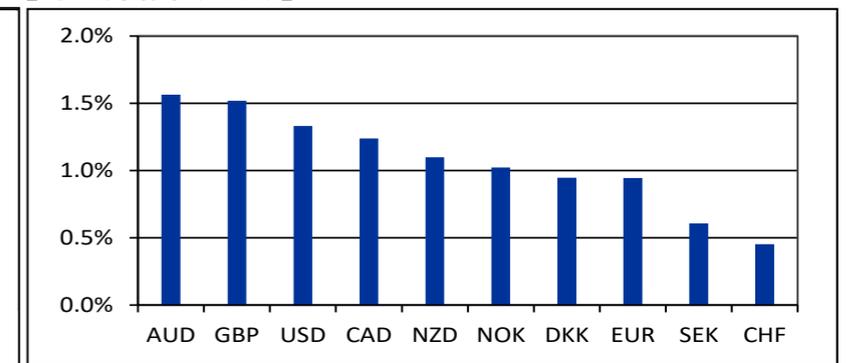
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月16日	21:30	米 住宅着工件数(前月比)	7月 -1.5%	3.0%
	21:30	米 住宅建設許可(前月比)	7月 -2.0%	3.9%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	8月 66.9	66.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.50-150.50	1.0900-1.1050	161.50-164.50

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。今週公表の米国物価指標は小幅ながら市場予想を下回る内容に株高、金利低下で反応する中、ドル円に方向感が出なかったが、昨日は株高、金利上昇と揃った動きにドル円は149円台に戻した。足元ではFRBの利下げ完了まで米国経済が耐えきれるかという点にテーマが移っており、経済減速、雇用環境の悪化を受け、FRBが後手に回り金利引き下げを迫られるケースではドルの下落余地は大きい。インフレ指標以上に雇用、消費、景況感に関する指標の結果に対する為替市場の反応は大きくなる。本日はミシガン大消費者マインドが公表予定。景気後退への懸念が依然燦る中、この水準では実需ドル売りも出やすいほか、米経済指標が市場を下回れば昨日のドル上昇が急激に巻き戻される可能性もあると考えており注意したい。

東京	東京時間のドル円は147.30レベルでオープン。五・十日の実需のドル買いに加えて豪7月雇用統計の市場予想を上回る結果を受けた豪ドル円の上昇もサポート材料となりドル円は147.60まで上昇。一服後は上値重く147円台前半まで戻す展開。結局147.21レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.21レベルでオープン。全般に小動き。ドル円はもみ合い、結局147.23レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2848レベルでオープン。英第2四半期が前期比0.6%成長と英経済の回復が続いていることが示される中、ポンドは堅調。1.2861レベルでNYに渡った。なお本日、ルウェー中銀は予想通り政策金利を据え置いた。通貨クローネの反応は限定的だった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台前半でスタート。五・十日に伴った買いや、豪州7月雇用者数変化指数が予想を上回った事を受けた円売りから、147.60まで上昇。しかし、その後は芽えない中国7月鋳工業生産(前年比)等の結果を受け、アジア株が上げ幅を縮小する展開を受け、ドル円も上値重い推移が続き、147.23レベルでNYオープン。朝方に発表された米7月小売売上高(前月比)が予想を上回った他、米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数も予想を下回った事を受け、ドル買いが優勢となり、149.30付近まで大幅上昇する。しかし、その後にはムサレム・セントルイス連銀総裁が利下げ時期が近づいている可能性がある」との発言が上値を抑え、148.90付近まで反落。午後は米金利が高水準で推移する展開を受け、終盤にかけては高値の149.40まで反発し、その後149.31レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.10台前半でスタート。特段の注目材料が見当たらない中、1.1010付近を中心とした小動きが続き、1.1013レベルでNYオープン。午前中は先述の予想を上回った米小売売上高の結果等を受け、ドルが買われる中、1.0950まで大幅下落。その後はドル買い一巡となり、徐々に1.0990付近まで戻す。午後は1.0970付近まで再び小幅反落し、1.0971レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。